

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 20号)

2020年 3月26日発行

兵庫のり研究所

珪藻はこの海域西部でキートセロスやリゾソレニアが確認されますが、それ以外の海域ではほとんど見られませんでした。窒素は、陸水等の影響が見られた地点を除き二見西部以西で $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下、二見東部以东で $1 \sim 2 \mu\text{g-at/L}$ となっており海域全体的に前回(3/19)調査時より減少しています。

(水温) 漁場内平均 12.0°C 。平年より 1.9°C 高く、前回より 0.5°C 上昇。(塩分) 平均 32.08psu 。前回(32.07)とほぼ同値。

(栄養塩、珪藻) キートセロスは高砂や別府周辺で前回調査同様に少し確認される。加えてリゾソレニアが高砂ではやや目立って、別府～二見周辺では散見される程度であるが発生が見られた。一方、明石海峡の地点では小型珪藻のニッチアやレプトシリンドラスが確認され、依然として大阪湾での栄養塩の回復が認められないことから、明石海峡周辺の窒素は $2 \mu\text{g-at/L}$ 前後と低調な状況が続いている。気象情報によると今週末に降雨の予報となっており、来週半ばに気圧の通過に伴う降雨が予想されています。まとまった降雨による栄養塩供給に期待したいところです。

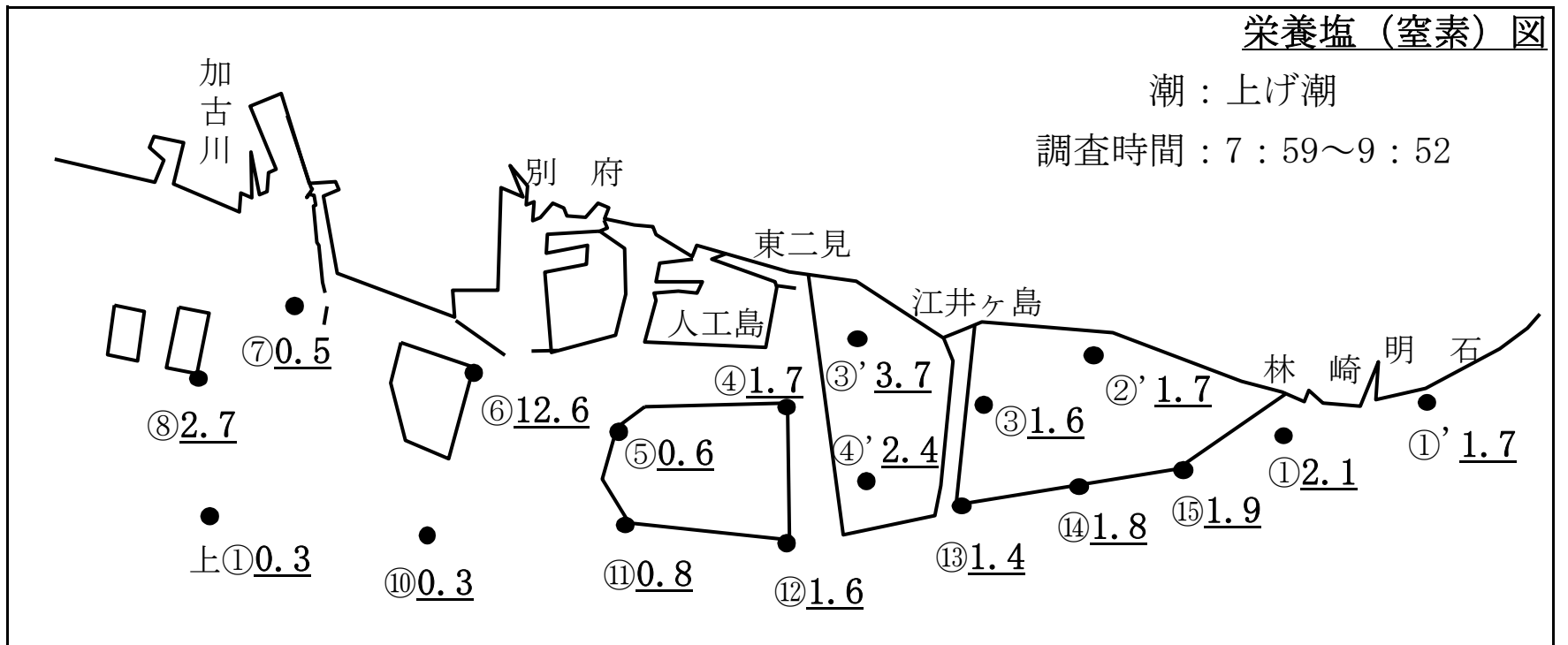
	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.5	12.0	10.1	11.5
窒素	3.4	2.7	2.8	3.5
リン	0.40	0.33	0.26	0.32

(3/19)

(3/29)

2020年 3月26日調査

栄養塩(窒素) 図



水温図

